

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	水道料金収納事務	所管	水道部 営業課
			TEL 2921-1080

事業の目的 (何の為に 行うか)	地方公営企業の健全な運営に資するため、料金の収納に努める。
------------------------	-------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	行政区内戸数	対象とした数	141,702	戸
		実際に 利用した数	141,684	戸

活動の内容	(何を したか)	1.量水器を検針し水道料金を算定する。 2.水道利用者へ料金の納入通知を発送する。 3.収納取扱金融機関の口座振替やコンビニエンスストアでの収納を行う。 4.納入期限を経過しても納入しない利用者に督促通知書等で納入を促す。								
		活動実績	項目名	水道料金請求件数	1024399	項目名	水道料金請求金額	6588933	項目名	督促通知書送付件数
			単位	件		単位	千円		単位	件

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	200,090	194,867	476,687	1,405.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率			
	収納率 (4月30日現在)	収入済額/算出金額×100	100	97.98	98.0			
			単位	%	単位	%	単位	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕						
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止						
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了						

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり 増額 減額 終了						

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	110200	TEL	2921-1080
事業コード	水道料金収納事務	水道部 営業課				
110201		グループ 収納、料金、業務、量水器、計量グループ				
開始年度		昭和 25 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令		
	分野別計画・指針					地方公営企業法、水道法	
	関連・類似事業	下水道使用料徴収事業				所沢市水道事業給水条例	
	総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	5節 上水道	中柱	小柱
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 36 位		・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***				
行政改革大綱における行動計画への位置づけ							
コード	3261	事務事業見直しの推進	コード		コード		
事業開始の背景	水道事業の設置とともに地方公営企業として料金収入が生じ、収納事務が発生した。						

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	地方公営企業の健全な運営に資するため、料金の収納に努める。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方				
	行政区内戸数				水道利用者の(給水戸数)				
	対象数	単位	平成 18 年度	139,595	戸	利用数	単位	平成 18 年度	139,577
		平成 19 年度	141,702	戸			平成 19 年度	141,684	戸
事業の具体的な内容及び実施方法									
1.量水器を検針し水道料金を算定する。 2.水道利用者へ料金の納入通知を送信する。 3.収納取扱金融機関の口座振替やコンビニエンスストアでの収納を行う。 4.納入期限を経過しても納入しない利用者に督促通知書等で納入を促す。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>						
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])					
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
平成19年度中に改善した点							
未納者に早期の収納を促すため、市内給水停止区域を数地区に分けて行っていたのを2地区に分け給水停止の執行サイクルを短縮した。							

⑤経費	《会計種別》	企業会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		194,226	200,090	205,943
	決 算 (見込み含む)		184,751	194,867	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費		30.00 人 276,000	30.00 人 281,820	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		460,751	476,687	
	財源内訳	一般財源	460,751	476,687	205,943
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			1,363.6	1,405.9	
利用数一単位あたり(単位:円)			3,301.1	3,364.4	

⑥指	項目名	水道料金請求件数	年間計(現年度+過年度分)	単位	件	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績					1,015,189	1,024,399	1,033,692	
		水道料金請求金額	年間計(現年度+過年度分)		千円	6,627,557	6,588,933	6,550,534	
		督促通知書送付件数	年間計		件	54,374	55,536	56,722	
	成果分析	収納率(4月30日現在)	収入済額/算出金額×100		%	目標値 100	実績 97.69	97.98	100
				%	達成率 97.7	98.0		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	水道料金請求件数が年々増加しているが、収納率は高い水準にある。引き続き期限内の納付を促すとともに、収納率維持のため、利用者が納入しやすい環境を確保する。		
	評価理由	今年目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	収納率向上	前年度収納率より向上させる。	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由				
水道料金収入は水道事業収益の中核をなし、水道料金収納事務は非常に重要な役割を担っている。今後も引き続き事務効率を高めると共に、水道利用者の利便性の向上を図っていく。また、負担の公平性を欠くことのないよう、未納者に対しては督促や催告等により早期な納入を引き続き促していく必要がある。				
評価日	平成20年5月23日	記入者職氏名	参事 若山 正幸	

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日							

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し			計画コード	
	施策の体系				施策の方向	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し			計画コード	
	基本目標					
	主要課題					
施策の方向						